



ぶどう特報

No.9 H27. 8. 7

J A 中野市営農センター

J A 中野市ぶどう部会

- ◆連日高温が続いております、かん水を実施できる園は定期的なかん水をしましょう。
- ◆クビアカスカシバの食害が見られます。例年発生している園、心配な園は食害がないか確認をしましょう。
- ◆栽培日誌の提出の準備を進めましょう。

【第10回ぶどう農薬散布】

散布時期	除袋前の散布（8月中下旬 または 前回から10日後）				
散布薬剤	水	100ℓ	散布日	月	日
	ICボルドー66D	2.5kg	散布量	ℓ	
	ビッグマグ（葉面散布剤）100g				
	* ICボルドー66Dに代えてボルドー液を使用する場合は、展着剤を水100ℓあたり10ml加用し、「4-4式（生石灰400g・硫酸銅400g）」「ワインぶどう4-2式（生石灰200g・硫酸銅400g）」とする。				
散布量	たっぷり 400ℓ 以上				
適用病害虫	べと病・晩腐病・さび病				
注意点	※周辺が住宅やもも園などでICボルドーを散布できない場合は、ムッシュやコサイドを散布しても良い。 ① アメシロ・スカシバ発生園はアディオ水和剤2,000倍（収穫7日前まで5回）を散布する。 ② スリップス（クモ、やぶ蚊）発生園は、アーデントフロアブル2,000倍（収穫前日まで4回）を散布。 ③ ボルドー液の薬効を延長させるため、KK-ステッカー（展着剤）3,000倍を加用しても良い。ただし、必ずよく攪拌しながら投入する。 ④ 死角、園地外周等散布ムラのない様に散布する。 ⑤ 防除の際、隣接地がアスパラガスの場合は事前に園主へ連絡してください。 ⑥ ボルドー液は、もも・プラムに薬害が発生するので隣接園は絶対かからないようにする。				

◆農薬収穫前規制について◆

いよいよ露地ぶどうも収穫も間近となってきました。収穫を控え、使用できる農薬が限られてきますので下記を参考に農薬の安全使用に努めて下さい。あわせて、栽培日誌の整備も進めましょう。

農薬名	対象病害虫	使用倍率	収穫前日数	使用可能回数
ICボルドー66D	晩腐病・べと病・さび病	40倍	—	—
ムッシュボルドーDF	べと病・さび病	500倍	—	—
コサイド3000	べと病・さび病	2,000倍	—	—
ランマンフロアブル	べと病	2,000倍	収穫14日前まで	3回まで
ライメイフロアブル	べと病	4,000倍	収穫14日前まで	3回まで
レーバスフロアブル	べと病	2,000倍	収穫7日前まで	3回まで
アーデントフロアブル	アミ類・ハダニ類	2,000倍	収穫前日まで	4回まで
アディオ水和剤	クビアカスカシバ（スリップス）・カミキリ・アゲハ類	2,000倍	収穫7日前まで	5回まで

【ぶどう農薬特別散布（収穫までに散布間隔が空く または 晩生種の場合）】

散布時期	除袋前（8月下旬頃）				
散布薬剤	水	100ℓ	散布日	月	日
	ICボルドー66D	2.5kg	散布量	ℓ	
	* ICボルドー66Dに代えてボルドー液を使用する場合は、展着剤を水100ℓあたり10ml加用し、「4-4式（生石灰400g・硫酸銅400g）」「ワインぶどう4-2式（生石灰200g・硫酸銅400g）」とする。				
散布量	たっぷり 400ℓ 以上				
適用病害虫	べと病・さび病・晩腐病				
注意点	①ボルドー液の薬効を延長させるため、KK-ステッカー（展着剤）3,000倍を加用しても良い。ただし、必ずよく攪拌しながら投入する。 ②死角、園地外周等散布ムラのない様に散布する。 ③防除の際、隣接園に注意し絶対に飛散しないようにする。				

防除の際は必ず栽培日誌へ記入しましょう！出荷前に必ず提出！！